

平成 15 年度高エネルギー加速器研究機構技術研究会参加報告

山本好弘（三重大学工学部技術部）

平成 16 年 2 月 26 日、27 日の両日、高エネルギー加速器研究機構において開催された、「平成 15 年度高エネルギー加速器研究機構技術研究会」に参加し、様々な情報を得ることが出来たので、その概要について報告する。

技術研究会は昭和 51 年に分子化学研究所から始まり、高エネルギー研究所、核融合科学研究所の 3 研究所で開催されてきた。今日では、3 研究所に加えて各大学でも開催されるようになり、今回で 29 回目を迎える。

今研究会では、5 つの分科会及びポスターセッションに対し 77 件発表参加(表参照)があり、7 つの会場で行われた。第 5 分科会、情報・ネットワーク技術については、2 日目から 2 会場に分かれて行われた。また、全国の大学(39 校)、高専(11 校)、研究機関(8 機関)およびメーカー(2 社)から 407 名の参加があった。なお、三重大学からは、2 件(口頭、ポスター)の発表および 5 名の参加となった。

表 分科会別の発表件数

分科会	分野名	発表件数
1	工作技術	16
2	低温技術	10
3	計測・制御・回路	16
4	装置技術	13
5	情報ネットワーク技術	22
ポスターセッション		45

口頭発表では、技術部ネットワークグループ 6 名の連名(発表者伊藤篤、梅田直明、中村勝、新美治利、平山かほる、山本好弘)で「技術部運用・管理システムの開発事例紹介」と題して発表を行った。技術部の再組織化による新たな業務体系の運用・管理をサポートする為のシステム開発を以前から行っており、今回は運用開始前のシステムについての開発事例

を中心に発表を行った(前回の技術研究会では概要について報告)。この発表に対し、依頼業務の手順、このシステムを使用した際の運用方法についてなどの質疑・討論が行われた。

ポスター発表では、口頭発表と同じくネットワークグループ 6 名の連名(発表者山本好弘、梅田直明、中村勝、新美治利、平山かほる、伊藤篤)で「技術部運用・管理システムの紹介」と題して行った。この発表では、口頭発表による開発事例をはじめ、新たな業務体系下での運用等も含めたシステム全体の報告を行った。この発表においても独立行政法人への移行間近ということもあり、技術部の組織形態や運用方法についての有意義な意見交換を行うことができた。また、既に依頼業務を行っている大学からは、透明性についての評価を頂いた。この他にもデータベースのモデル化や Zend による PHP のプログラムに関する技術的な情報交換も行うことができた。

なお、このようなシステムによる運用の事例が少ないのか概ね好評であり、また様々な意見を頂くことが出来たので、今後の開発、運用に有効に反映させて行きたい。

技術研究会報告集については、今回は冊子ではなく、各 PDF ファイルを収録した CD-ROM の形で当日配布された。なお、Web 上には事前に公開されていたが、当日急に必要になった時は対応が難しいと思える(なお、ゲスト用無線 LAN のアクセスポイントが事前に公開されてはいた)。報告集が PDF ファイルの場合のポスター発表では、事前に当日配布用のプリントを用意して置くことをお勧めする。

最後に、技術職員の情報交換、自己研鑽の場として定着してきた技術研究会が、今後も開催され続けることを希望します。